

2022年2月期（FY2022） 決算説明資料

2022年4月12日
ローツェ株式会社

証券コード：6323
<https://www.rorze.com/ir>

注意事項

◆ 将来見通しに関する記述について

本資料に記載されている業績予想、将来予測などは、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その情報の正確性、完全性を保証したり、約束したりするものではありません。

また、経済動向や業界における競争、市場、諸制度等の変化により大きく見通しが変動する可能性があり、今後予告なく変更されることがあります。

◆ 本資料における表示方法について

数 値： 単位未満を切り捨て

比 率： 1円単位の金額で計算後、単位未満四捨五入

会計期間： 連結、当社、国内および海外子会社の会計期間は次のとおり

	Q1 (第1四半期)	Q2 (第2四半期)	Q3 (第3四半期)	Q4 (第4四半期)	通 期
連結・当社 ローツェライフサイエンス	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～翌年2月	3月～翌年2月
海外子会社	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～12月

会社概要

商 号	ローツェ株式会社（英文名：RORZE CORPORATION）
所 在 地	広島県福山市神辺町道上1588番地の2
設 立	1985年（昭和60年）3月30日
資 本 金	982百万円
事 業 内 容	半導体・フラットパネルディスプレイ（FPD） ライフサイエンス関連の自動化・搬送装置の開発・製造・販売
上 場 市 場	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：6323）
従 業 員 数	連結 3,670名（2022年2月末現在） 単体 222名
事 業 拠 点	国内： 福山（本社）・横浜・熊本・つくば 海外： 米国・ベトナム・台湾・韓国・シンガポール・中国・ドイツ

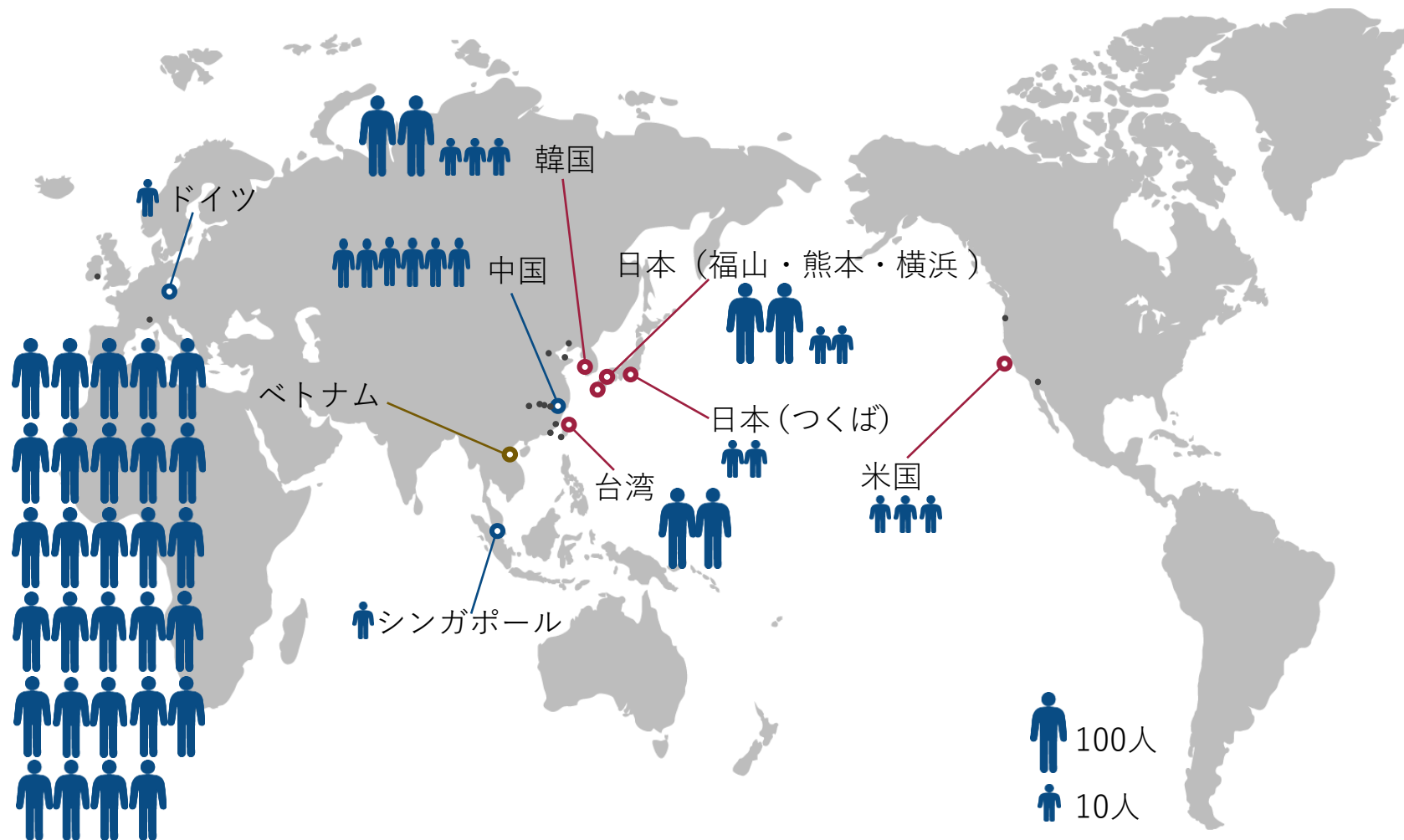


会社案内ダウンロード

https://www.rorze.com/files/jp/company_profile.pdf

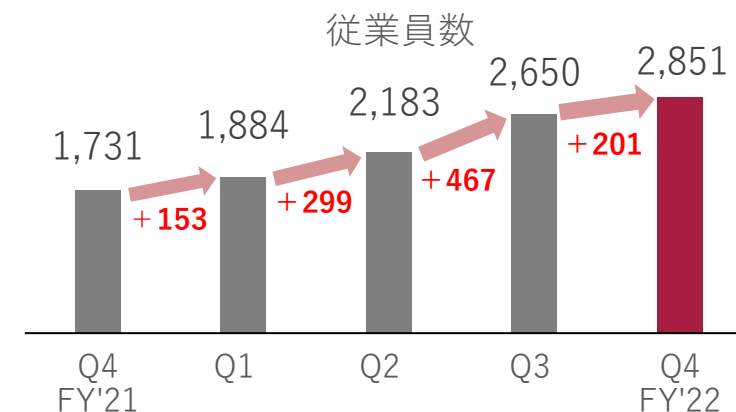


グローバルネットワーク



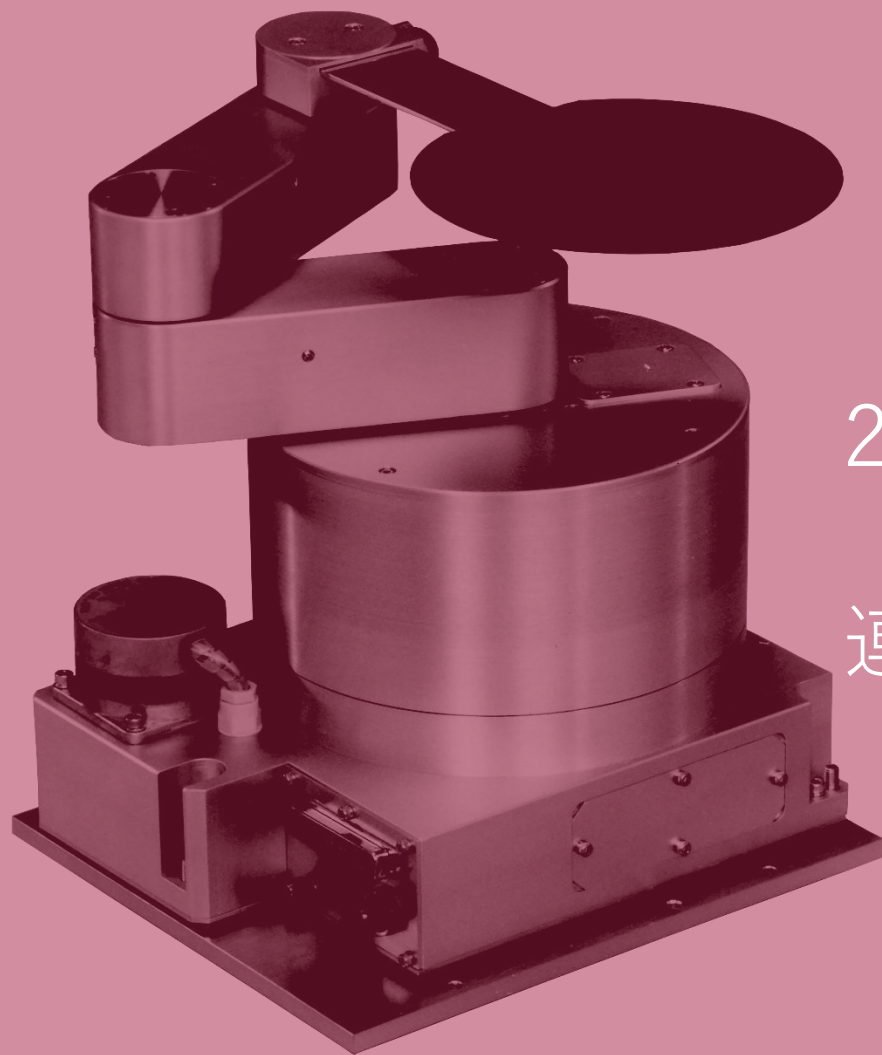
グループ従業員数 3,670名
(2022年2月末現在)

RORZE ROBOTECH (ベトナム)



(注) Q1: 3月31日現在 Q2: 6月30日現在
Q3: 9月30日現在 Q4: 12月31日現在

- 開発・生産・営業・サポート
- 営業・サポート
- 開発・生産
- サポート



2022年2月期
(第37期 2021年3月～2022年2月)
連結業績

2022年2月期 決算ハイライト

◆ 売上高、利益は過去最高

- ・ 半導体製造装置需要の拡大により、主力の半導体関連装置の売上が急伸長
- ・ 利益面ではベトナム工場での生産効率改善及び為替の影響等により大幅増益

◆ 受注拡大

- ・ 半導体関連装置は、製造装置需要の大幅拡大に加え、部品納期の長期化の影響から早期発注傾向が強く、受注高及び受注残高は想定以上の高水準を継続
- ・ FPD関連装置は、第4四半期の新規受注獲得により受注高及び受注残高が増加

2022年2月期 通期連結業績

(百万円)

科 目	当期実績	通期計画	計画比 (%)	前期実績	前期比 (%)
売上高	67,004	65,013	103.1	50,803	131.9
半導体関連装置	57,625	55,515	103.8	33,702	171.0
F P D 関連装置	3,699	4,265	86.7	12,425	29.8
ライフサイエンス関連装置	752	661	113.7	686	109.6
モータ制御機器	123	116	106.6	96	127.7
部品修理 他	4,802	4,453	107.8	3,891	123.4
営業利益	15,809	14,360	110.1	9,314	169.7
経常利益	17,818	14,809	120.3	8,487	209.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,824	10,976	116.8	6,470	198.2

半導体関連装置の売上増加により増収増益

2022年2月期 四半期会計期間別連結業績

(百万円)

科 目	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
売上高	14,442	15,057	17,091	20,413	67,004
半導体関連装置	12,242	12,840	14,691	17,850	57,625
F P D 関連装置	938	878	994	887	3,699
ライフサイエンス関連装置	86	158	150	357	752
モータ制御機器	25	29	29	39	123
部品修理 他	1,150	1,150	1,225	1,276	4,802
営業利益	2,848	3,833	4,092	5,035	15,809
経常利益	3,539	3,732	4,692	5,853	17,818
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	2,696	2,802	3,216	4,108	12,824

Q4の半導体関連装置売上高は前年同期比 2 倍、業績拡大に寄与

2022年2月期 連結売上高

◆ 連結売上高670億円（前期比 31.9%増）

【半導体関連装置】 576億円（前期比 71.0%増）

- 中国：成長拡大続く製造装置メーカー向けEFEM（中国向け売上高は前期比2倍）
- 米国：主要製造装置メーカー向けEFEM
- 台湾：ファウンドリ向けウエハソータ

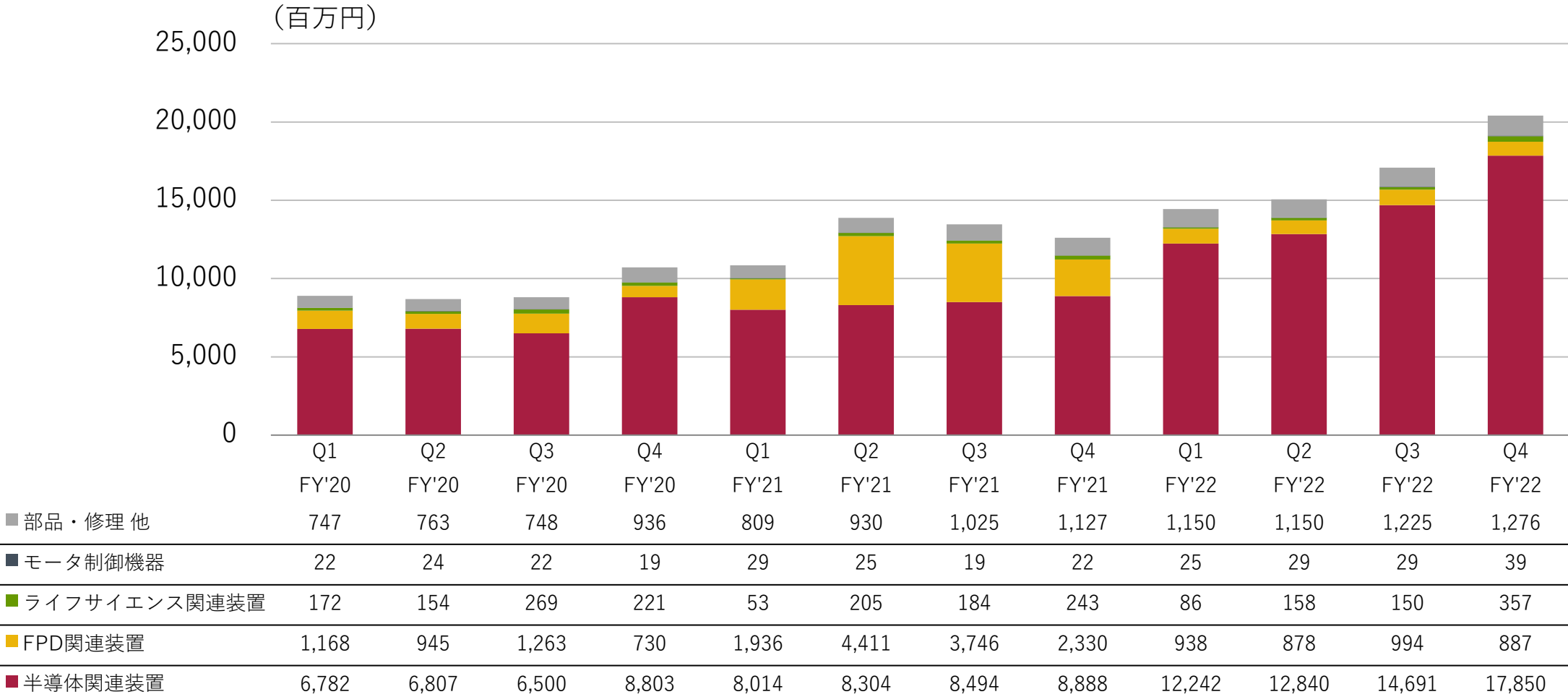
【FPD関連装置】 36億円（前期比 70.2%減）

- コロナ感染拡大によりベトナム及びインド向け自動化装置納入が一時中断、低調に推移、大型投資なく計画比、前期比で売上減少

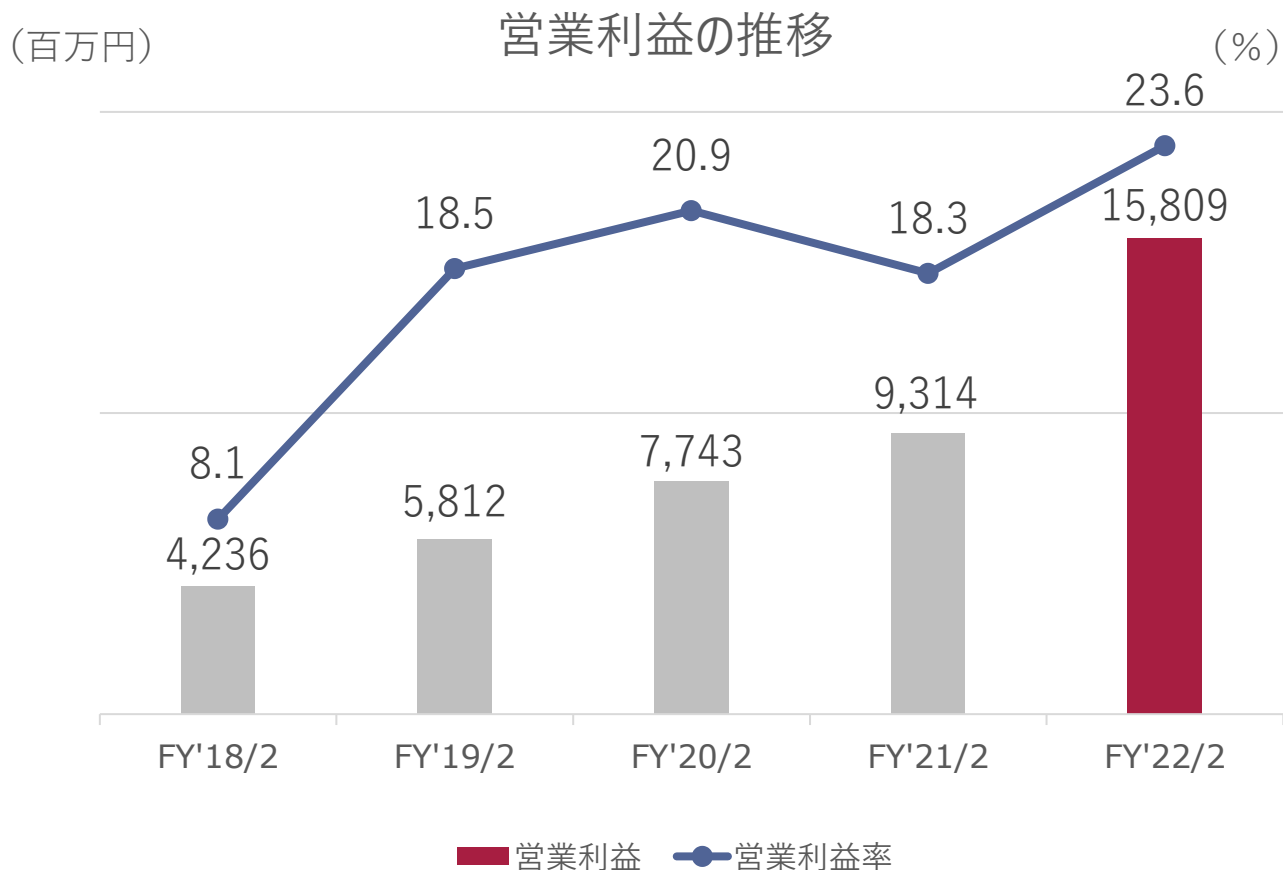
【ライフサイエンス関連装置】

- コロナ禍の装置納入延期により売上高は低調に推移したが、第4四半期納入に注力し、通期売上高は計画を上回り、前期比9.6%増を達成

連結四半期別売上高の推移（品目別）



損益状況

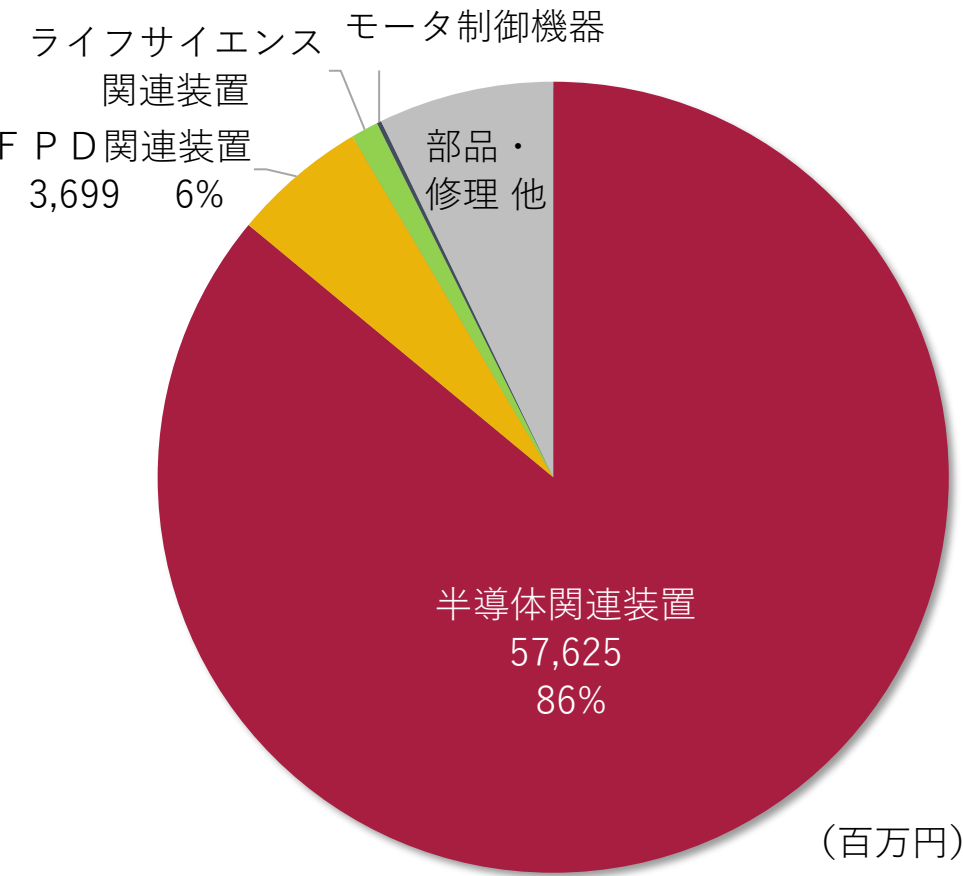


◆ 営業利益158億円 (前期比69.7%増)

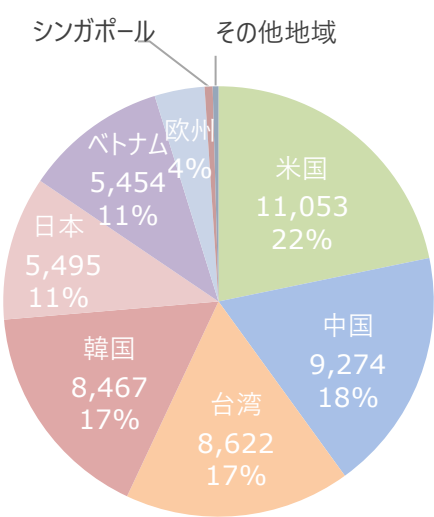
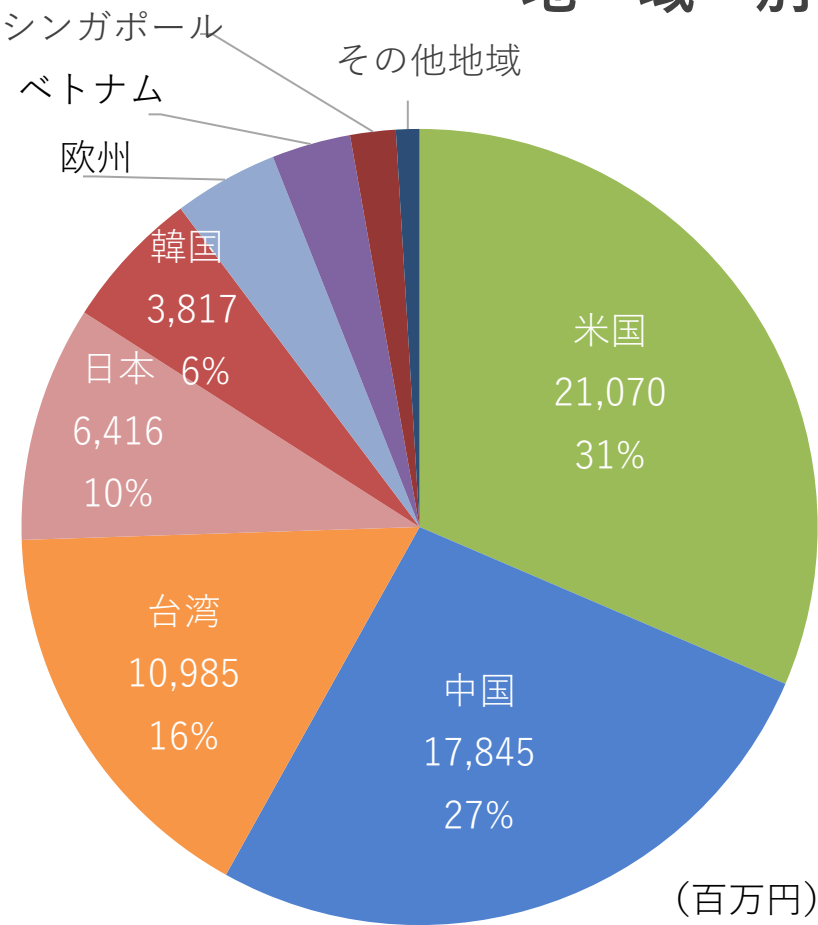
- 半導体関連装置の売上増加に伴う利益増加
- ベトナム工場での量産効果により固定費比率低下
- 売上増加に対する販管費率の低下

品目別・地域別売上高

品 目 別



地 域 別



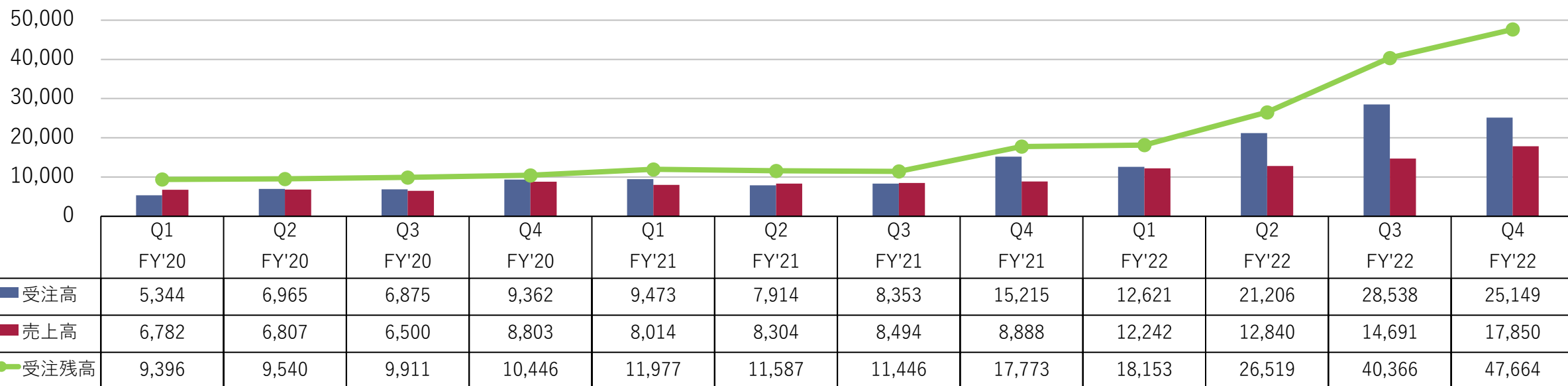
(参考) 前期実績

受注高・売上高・受注残高の推移

◆ 半導体関連装置

- 四半期受注高は約33億円減少したが依然高水準
- 受注残高は前四半期をさらに上回り過去最高を更新
- 米国及び中国の製造装置メーカー及び台湾ファウンドリからの受注堅調
- 部品長納期化の影響による生産納期調整が続く

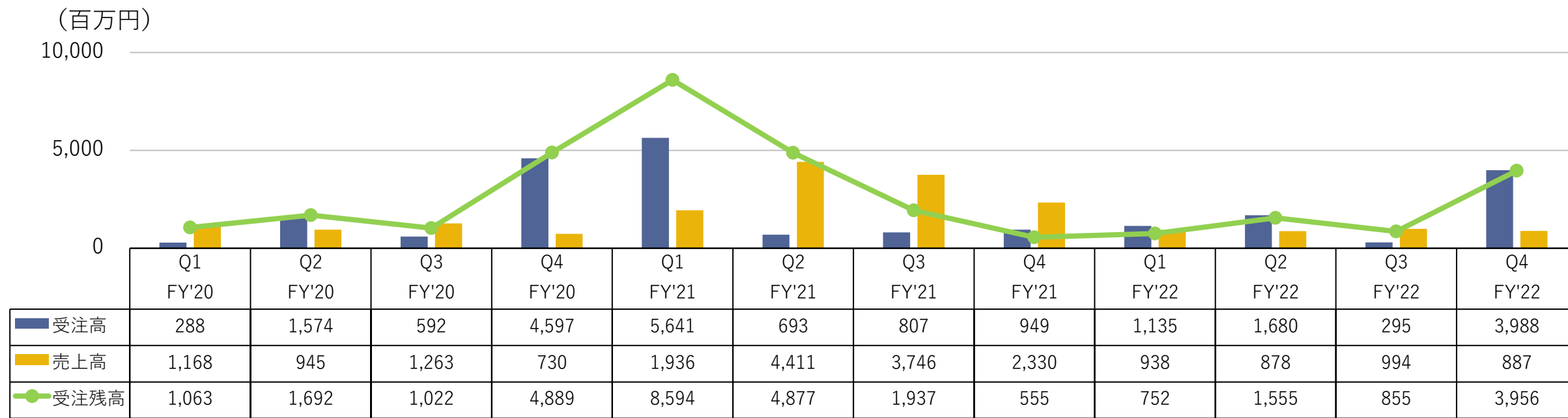
(百万円)



受注高・売上高・受注残高の推移

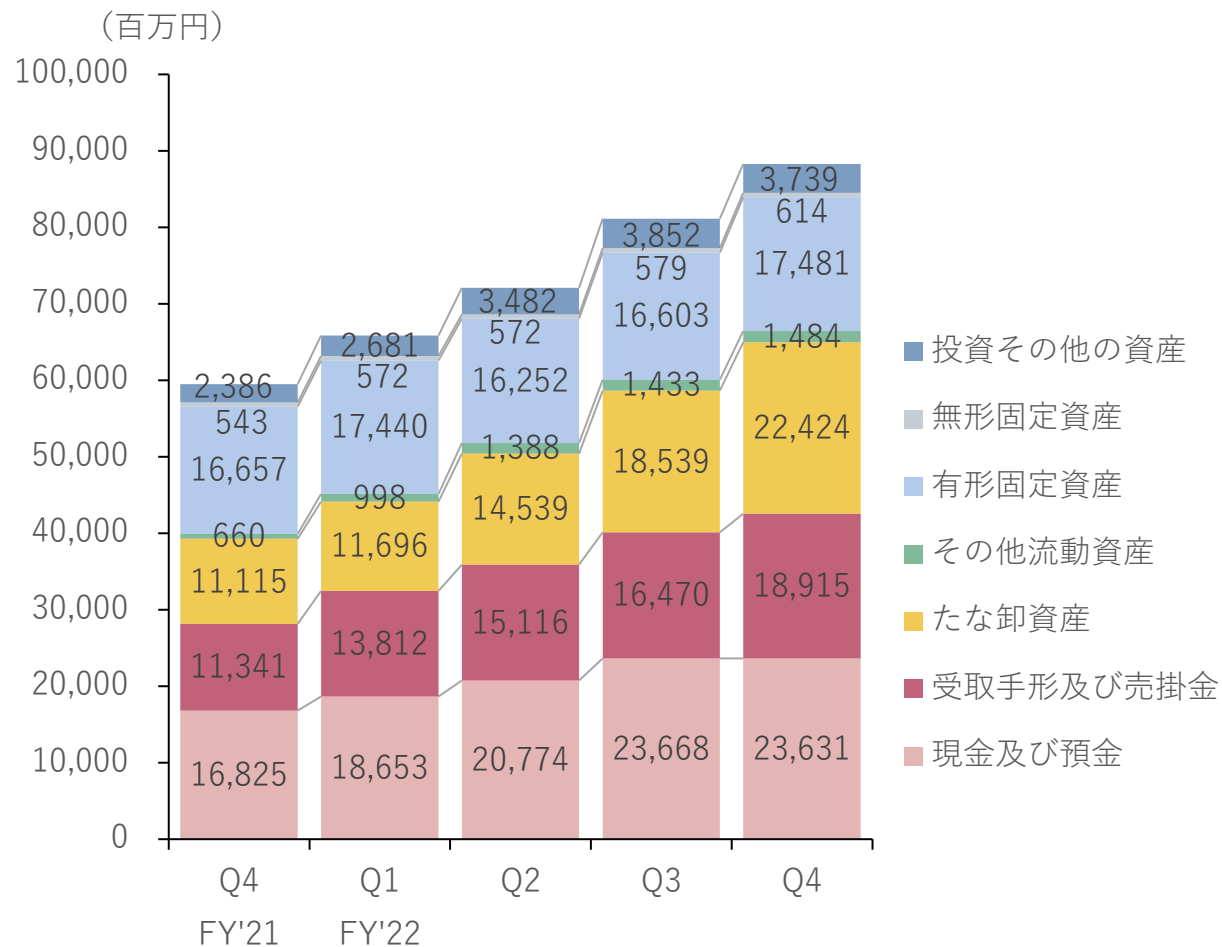
◆ FPD関連装置

- 期中韓国主要顧客の大口投資案件の決定なく、受注および売上は低調に推移
- 2021年12月ベトナム向け自動化装置等の新規受注約15億円などQ4受注増加

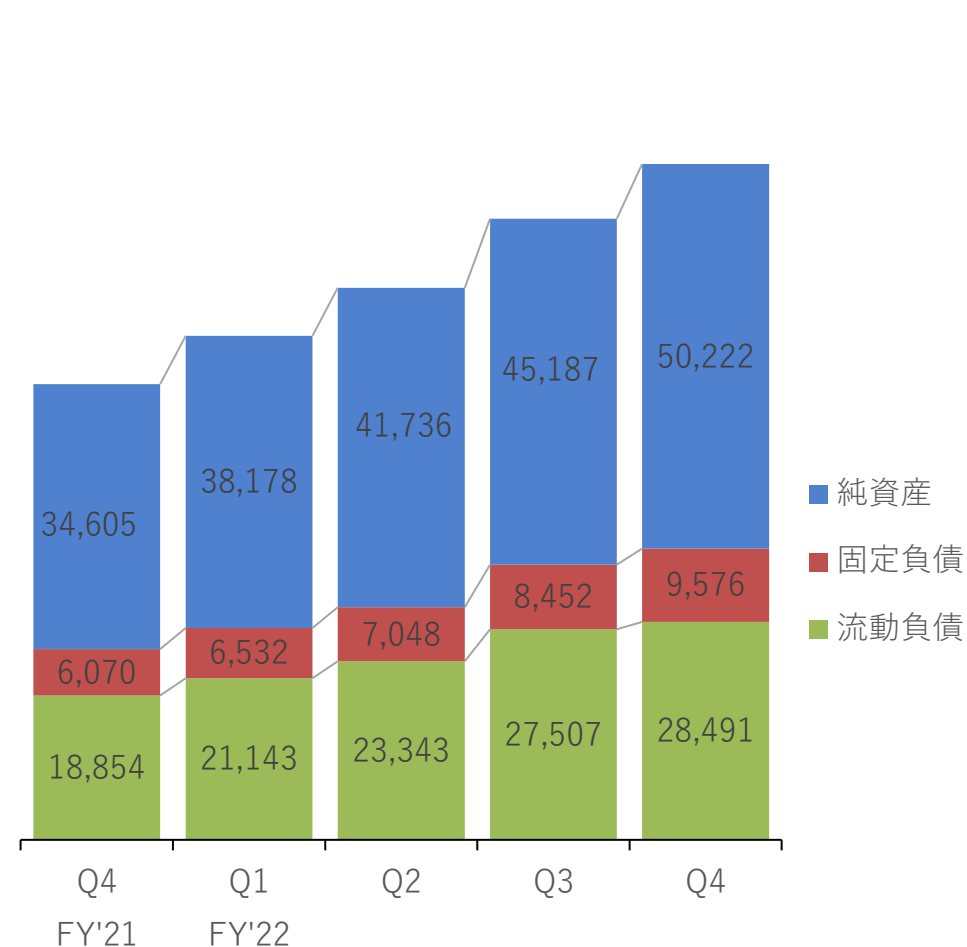


連結貸借対照表

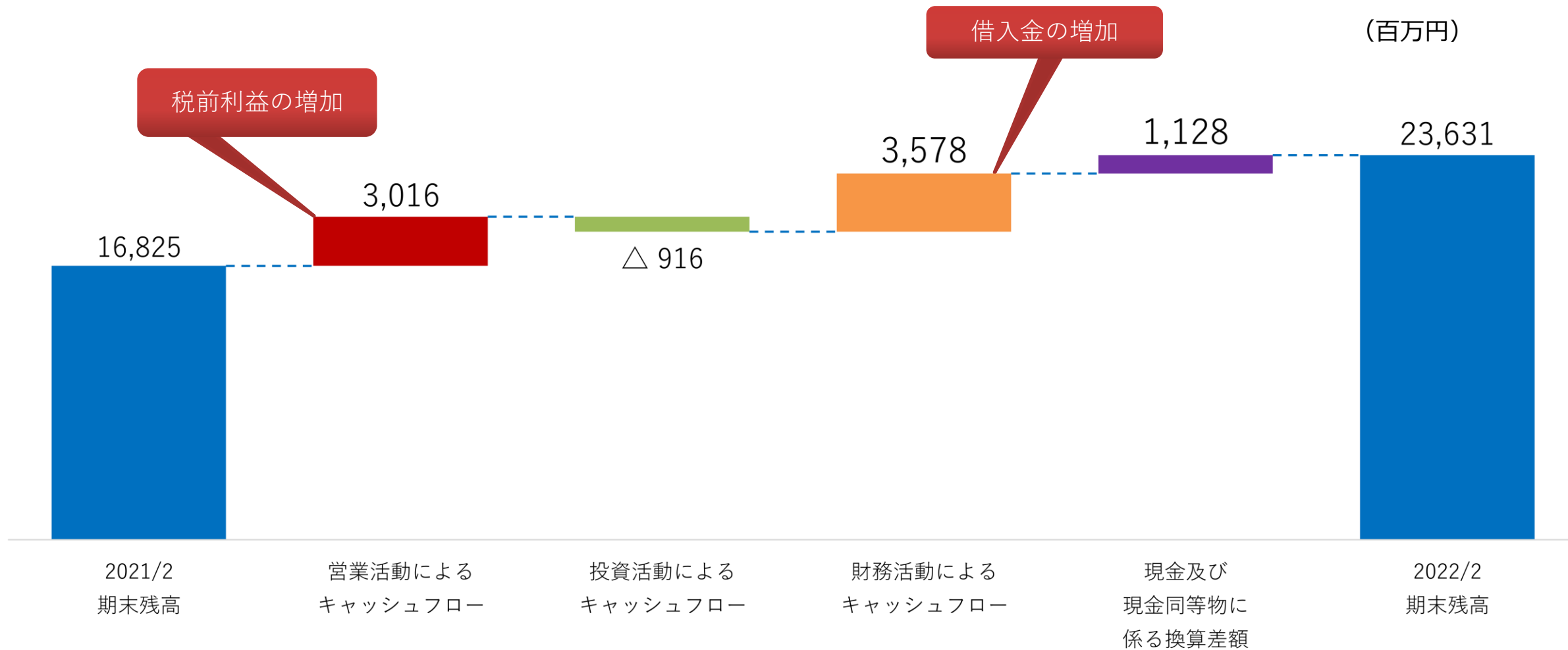
資 産

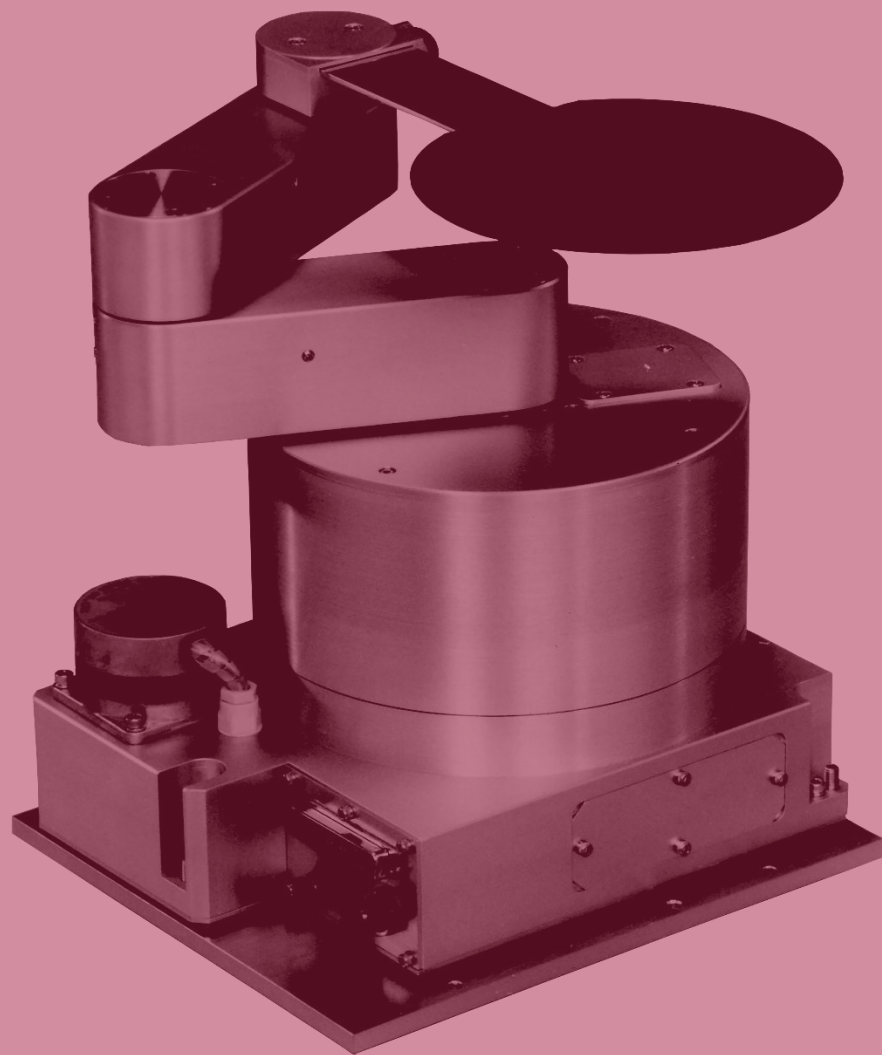


負債・純資産



2022年2月期 連結キャッシュ・フロー





2023年2月期（第38期） 今後の見通し

2023年2月期 今後の見通し

【事業環境】

- 5G関連、IoT、データセンター、スマートフォンの高機能化、メタバースなどの新たな半導体需要の増加
- カーボンニュートラルやSDGs（持続可能な開発目標）の観点から、グリーン投資による半導体需要の増加
- 自動車や家電製品等への半導体不足が継続
- 経済安全保障の観点から各国・地域で半導体産業への大型補助金投入、各社半導体工場の設備投資計画額の増加

【半導体関連装置】

- 米国、中国、台湾向け主力搬送装置の受注・販売は拡大基調続く
- 半導体をはじめ各種部品の入手困難な状況が一層強まり、長納期部品の調達コスト増加傾向続く
- グループ内の生産体制強化をはかる
ベトナムのA10新工場建設と従業員採用継続、中国子会社は現地でEFEM生産を開始、量産体制づくりを加速

【FPD関連装置】

- ベトナム向け自動化装置の更新需要による受注増加に加え、インドでのライン立上げを見込む
- 韓国主要取引先からの大口受注案件を見込むが時期、規模等の不透明感が続く

【ライフサイエンス関連装置】

- 国内大手製薬メーカー及び中国における販売拡大および新規装置開発をはかる

2023年2月期 通期連結業績予想

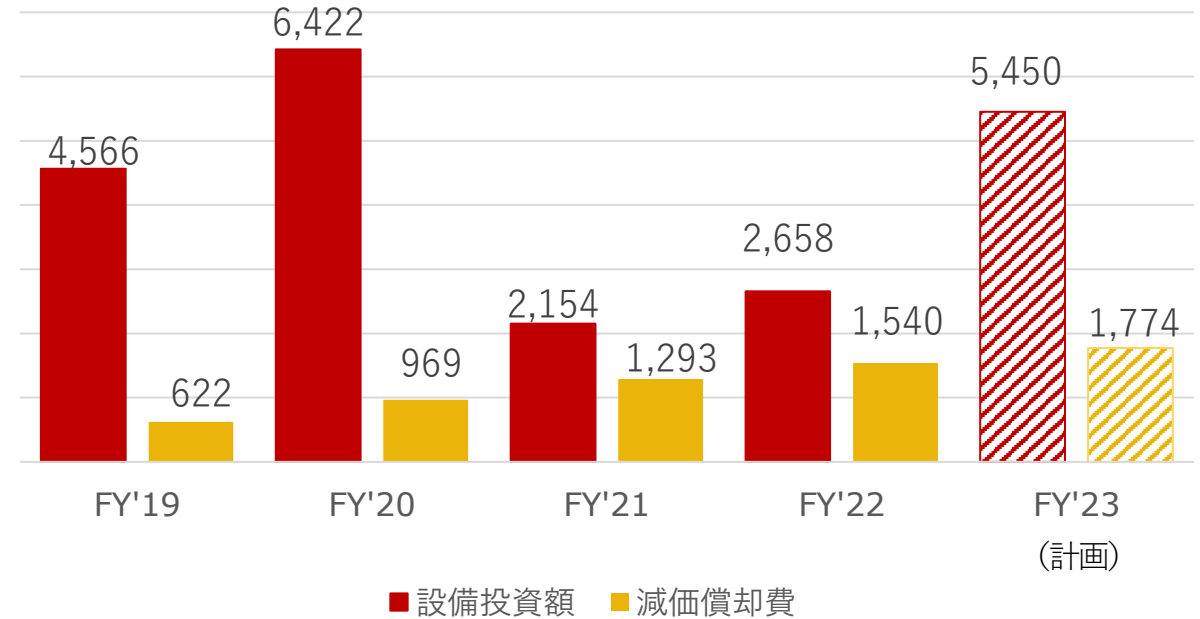
科 目	当期計画	前期実績	増減率(%)
売上高	88,753	67,004	32.4
半導体関連装置	77,387	57,625	34.4
F P D 関連装置	6,659	3,699	80.0
ライフサイエンス関連装置	1,147	752	52.4
モータ制御機器	118	123	△4.3
部品修理 他	3,422	4,802	△28.7
営業利益	24,733	15,809	56.4
経常利益	24,755	17,818	38.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	18,165	12,824	41.6

設備投資額・減価償却費

- FY'23の主な設備投資について

- ・ ベトナムA10工場新築工事、機械加工設備
- ・ ローゼライフサイエンスの社屋移転
- ・ 中国子会社のレンタル工場内装工事 など

(百万円)



ベトナムA10工場建設工事の進捗状況



新型コロナウイルス感染拡大により
工事業者の感染者増加の影響から
工期は若干の遅れ

竣工は2022年8月末予定

2022年4月4日撮影

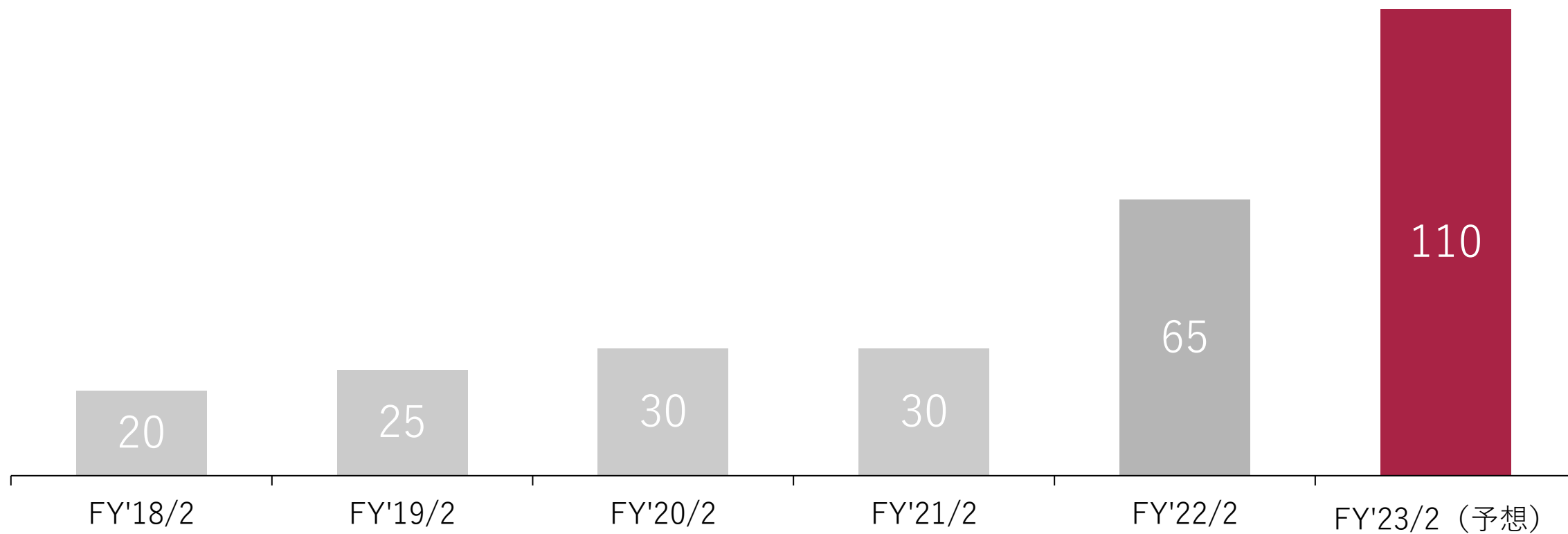
中国子会社でのEFEM生産に向けて



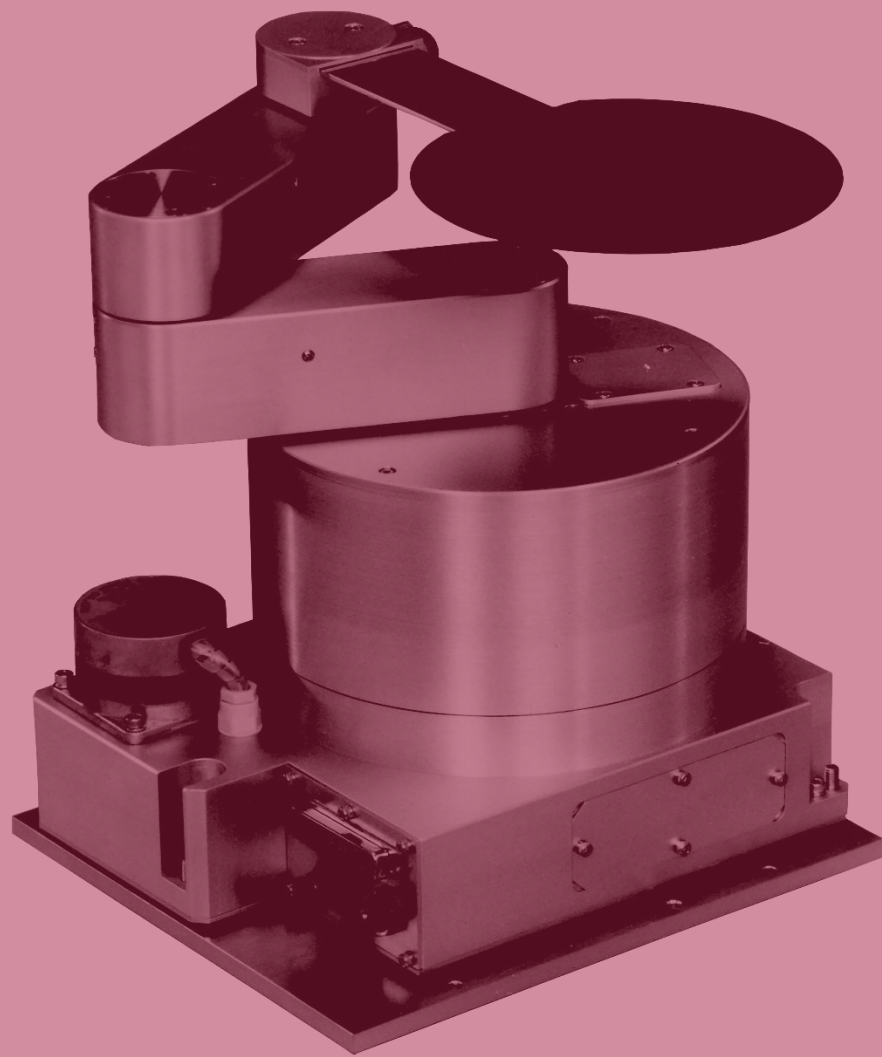
- 当初は2022年8月レンタル工場稼働予定
- 上海でのコロナ感染拡大によるロックダウンにより、内装工事は一時中断中
- 完成後中国でのEFEM最終組立の量産をはかる

期末配当金の推移

(円)



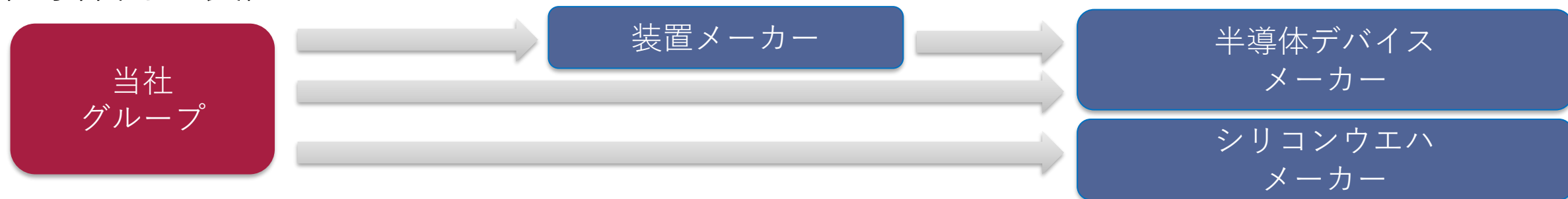
2023年2月期の連結業績予想より期末配当110円を想定



参 考 資 料

事業内容

半導体関連装置



F P D 関連装置（液晶、有機EL）



ライフサイエンス関連装置（創薬、再生医療）



半導体関連装置（半導体）

装置メーカー向け

大気用
搬送ロボット



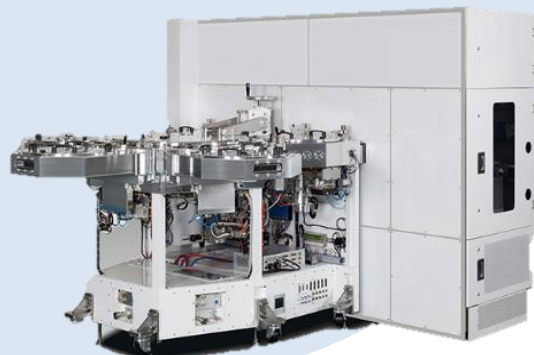
アライナ



N2対応
シャッターロードポート



EFEM



真空プラットフォーム

エンドユーザ向け



ウエハソータ



N2パージウエハストッカ



アクティブロードポート(ALP)

FPD関連装置（液晶、有機EL）

液晶、有機ELの製造工程で使用するガラス基板をクリーン搬送する装置、切断する装置を開発・製造・販売



ガラス基板搬送システム



Laser Glass Cutting Machine
(レーザ式ガラス基板切断装置)

ライフサイエンス関連装置（創薬・再生医療）



メカトロCO₂インキュベータ
SCALE120



自動培地交換機能搭載
細胞培養装置
CellKeeper120



観察機能付き培地交換装置
CellKeeper48Plus



全自動培地交換システム
CellFarm Light



細胞観察装置
CellShot



スケジューリングソフトウェア
Green Button Go™ ※
(※Biosero社製)

ありがとうございました

